

感染症情報 7月9日～15日

府下小児科198医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	920例(堺市	40例)
②溶連菌感染症	524例(堺市	85例)
③ヘルパンギーナ	310例(堺市	17例)
④手足口病	280例(堺市	9例)
⑤RSウイルス感染症	183例(堺市	31例)

府下インフルエンザ定点304医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	6例(堺市	2例)
---------	-------	-----

が報告された。

感染症報告数は前週比11.6%増の2,669件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下溶連菌感染症、ヘルパンギーナ、手足口病、RSウイルス感染症の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より7%減、堺市では前週より2%減であった。溶連菌感染症は府下で前週より4%増、堺市で前週65例→今回85例で31%増であった。ヘルパンギーナは府下で前週より64%増、堺市で9例→17例であった。手足口病は府下で前週より39%増、堺市では前週3例→今回9例であった。RSウイルス感染症が府下で前週122例→今回183例で50%増、堺市で前週27例→今回31例であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。